

北 翔



2020 新年号

一般社団法人 北海道ビルメンテナンス協会

も く じ

ごあいさつ	北海道知事	鈴木 直道	1
	札幌市長	秋元 克広	2
	(一社)北海道ビルメンテナンス協会	会長 岡田 知己	3
第57回優良従業員表彰式			4
平成31年度東北・北海道BM協議会			6
平成31年度労働安全衛生大会			7
平成31年度労働安全講習会			14
平成31年度労働災害防止論文			15
平成31年度労働災害防止標語			20
各地区協議会トピックス			22
新会員紹介			27
製品情報			28
ビルメンひろば			30
編集後記			32
広 告			33

表紙説明 旭川市“旭橋” 撮影者 ダイビ(株) 山中 智雄 さん

場所 旭川市常盤通3丁目から本町1丁目 北海道の三大名橋(旭橋・豊平橋・幣舞橋)

旭川には石狩川、牛朱別川、忠別川など大小130もの川が流れ、750以上の橋が架かっています。そのため旭川は「川と橋の街」とも言われています。そんな数ある橋の中で、旭橋は旭川のシンボルとして多くの市民に親しまれてきました。

完成は1932年(昭和7年)11月 橋長225.4メートル、幅員18.3メートル





年 頭 所 感

北海道知事

鈴木 直 道

新年明けましておめでとうございます。

北海道知事として初めての新年を道民の皆様と共に迎えることができ、大変うれしく思います。

大いなる挑戦を掲げ、勇気を持って果敢に前進を続けてきた私としては、本年を北海道にとって更なる発展と飛躍の年とするため、道政に全力を尽くしてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、元号が令和に改められ、天皇陛下が御即位されるという時代の大きな節目となる1年であり、本道においては、外国人観光客が初めて300万人を超え、北海道米に続き牛肉の輸出体制が強化され、G20観光大臣会合では、北海道の食と観光を世界に発信することができました。

加えて、国内初の民間単独開発のロケット打上げ成功、新千歳空港の発着枠拡大の決定、17年ぶりの欧州航空路線の就航開始という出来事が続き、さらには、東京オリンピックにおけるマラソン、競歩競技の札幌開催が決定し、北の大空に大きな夢が広がる年であったと考えています。

一方で、台風による甚大な災害を目の当たりにして、多くの方が安全・安心の重要性を強く意識する中、胆振東部地震災害からの復旧・復興や国土強靱化に向けた取組を推進するとともに、高齢社会の到来を見据えた医療・介護従事者の確保など、将来にわたって安心して暮らし続けられる地域づくりに向け、各般の政策を展開してまいりました。

また、本道を取り巻く国際情勢が大きく変化する中、農林水産業の生産基盤の整備や北の森づくり専門学院の開校など担い手の育成・確保

をはじめ、持続的な鉄道網の確立に向けた鉄道の利用促進や利便性の高い地域交通を目指すMa a Sの取組、炭鉄港などの日本遺産や恐竜・化石といった歴史的価値を有する地域資源の活用、外国人相談センターの開設をはじめとする多文化共生社会の推進など、地域課題の解決と新たな活力の創造にも取り組んできております。

本年においては、地域・産業・未来の視点のもと、人口減少対策はもとより関係人口の創出など地域創生を市町村と共に推進し、地域経済を先導する会・観光などの産業振興を図り、さらに未来指向の政策として、ICT技術を活用した北海道ソサエティ5.0の実現や本道の将来を担う人づくりに取り組んでいくこととし、その上で、北海道を応援いただく方々の知恵と力を結集する「ほっかいどう応援団会議」を活用し、地域課題の解決に向け、市町村とスクラムを組み、前へ前へと力強く進んでまいります。

私は、これからの1年は、新たな路線誘致など戦略的展開が期待される空港の一括民間委託のスタートやアイヌ文化の継承・発展の拠点となるウポポイのオープン、東京オリンピックにおけるマラソン、競歩、サッカー競技の札幌開催など、本道の魅力を世界に発信する大きなチャンスを迎えていると考えており、道民の皆様と共に世界と北海道が直接つながる新交流時代元年としてまいりたいと考えています。皆様には、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が、皆様にとりまして、希望に満ちた年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



年頭あいさつ

札幌市長

秋元克広

新年あけましておめでとうございます。謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年4月の選挙において、多くの方々のご支持とご信託をいただき、引き続き札幌市のかじ取り役を担わせていただくことになりました。今後の任期においても、1期目の重点的な取り組みを継続・発展させながら、災害対策や福祉の充実などにより、誰もが安心して暮らしているまちづくりを進めてまいります。

昨年を振り返りますと、地震や台風による自然災害が日本全国で発生した年でありました。札幌市では一昨年に発生した「平成30年北海道胆振東部地震」からの復旧・復興、被災者支援に全庁を挙げて取り組むとともに、災害に強いまちづくりのため、引き続き、街の強靱化を図ってまいります。

一方、去年は、人々に夢や希望を与えてくれたといった、スポーツの力というものを改めて実感した一年でもありました。中でも、アジア初となるラグビーワールドカップでは、国内外から多くの方々が札幌を訪れ、大会関係者や観戦者に、豊かな自然や食といった魅力に加え、おもてなしの心や大会運営能力の高さを発信することができたと考えております。準備から開催に至るまで、官民がしっかり連携して取り組んだからこそ得られた結果と、携わっていただいた全ての皆さまに感謝申し上げます。

今年はいよいよ「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」が開催されます。札幌では、オリンピック競技の男子・女子サッカーに加え、マラソン・競歩が開催されます。開催まで時間は限られますが、大会の成功に向けて関係機関と一体となり、急ピッチで準備を進めてまいります。

また、2月には「スペシャルオリンピックス2020北海道」が、札幌・江別・岩見沢で開催されます。障がいのある方のスポーツ活動への理解が深まるよう、大会PRなどに取り組んでまいります。

私の2期目がスタートしてから、これまでの間、昨年6月には早急に進めるべき事業について補正予算を編成したほか、今後のまちづくりの指針となる「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2019」を取りまとめるなど、全力で市政運営を行ってきたところです。

今年は、この計画に掲げている地域包括ケア体制の拡充や、児童虐待への対応に向けた相談体制の強化などの取り組みを着実に進めてまいります。また、建設業など人手不足が顕著な分野の人材確保・育成対策、札幌の基幹産業である観光業の振興を進めるとともに、引き続き、冬季オリンピック・パラリンピック招致の実現も目指してまいります。

札幌市は、2022年には市制施行100周年の大きな節目を迎えます。これまで、1972年の冬季五輪などを経て、197万人を擁する大都市に発展してきました。しかし、この先は人口構造の変化やそれに伴う財政負担の増加など、厳しい時代を迎える見込みです。そうした中でも、持続可能な札幌の将来を形づくっていくため、SDGs（持続可能な開発目標）の視点も併せ持ったまちづくりを進めてまいります。本年は、次の100年に向けたまちづくりの出発点となる重要な一歩を踏み出す年にしてまいります。

どうか本年も、皆さまのお力添えをお願い申し上げますとともに、本年が皆さまにとりまして素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。



年 頭 所 感

一般社団法人 北海道ビルメンテナンス協会

会 長 岡 田 知 己

「北海道協会の着実な発展に向けて！」

新年明けましておめでとうございます。

令和二年の輝かしい幕開けにあたり謹んでお慶び申し上げます。

昨年は、8月の前線に伴う大雨、台風10号・15号・19号により日本各地で大きな被害を受けました。被災され亡くなられた多くの方々には深く追悼の意を表するとともに、被災地のお住まいの方々へは、一日も早い復興・復旧を願うものであります。

経済情勢では、日韓関係の悪化により昨年9月・10月に日本に訪れた韓国人旅行者数は、前年同月より各58.1%、65.6%減少となり、ラグビー・ワールドカップの開催を受け参加国からの訪日客が増加したものの11月以降は弱い動きとなっております。また、中国経済の減速等の影響を受けた業種も一部ありますが、米中貿易摩擦への過度な警戒感が和らぐなど、穏やかな景気回復が続く見通しとされていますが、ビルメンテナンス業界においても、深刻化する人手不足や最低賃金の大幅なアップなど、依然として厳しい経営状況は変わることなく、当協会の会員企業も大変な苦勞をしております。

このような中、外国人材の受入れとして、平成28年からビルクリーニング職種が対象とされた「技能実習」や昨年4月から施行となった「特定技能（1号）」による在留資格は、人手不足への対応として大きく期待されるものと考えております。北海道におきましても外国人実習生を対象とした「基礎級」の検定試験は昨年4月から61名が受験し、昨年11月に行った特定技能1号評価試験には2名が受験したところで

あり、今後ますます受験者が増えていくものと考えております。これらの外国人材の受入れは、業界の発展に大いに寄与するものと期待しているところであります。

また、北海道協会のほか(社)全国飲料水槽管理協会北海道支部、北海道ペストコントロール協会を構成メンバーとして、昭和58年6月に事業者や従業員の研修・指導、建築物衛生に関する普及指導・調査研究などを目的とする「財団法人 北海道建築物衛生管理研修センター」を設立し、道協会と研修センターは二人三脚で北海道のビルメンテナンス業の推進に努めてきましたが、年々受講者が減少してきている研修センターの運営維持は厳しさを増している状況にあることから、昨年4月1日をもって道協会と研修センターが合併し、道協会が研修センターの事業・資産を引継ぎ、事業者や従業員の研修・指導、建築物衛生に関する普及指導・調査研究を継続してきているところです。

今後も、ビルメンテナンスに関する技術の向上及び知識の普及等について一体的に取り組んでまいります。

最後に、「2020年東京五輪のマラソン・競歩」が札幌開催と決定しました。準備期間が短く厳しい状況ではありますが、五輪は平和の祭典です。開催が決定したからには、皆さんが良い思い出となる祭典に、北海道民としても取り組んでまいりますので、皆様の応援をよろしくお願いいたします。

本年が皆様にとりまして最良の年となりますようご祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

第57回 優良従業員表彰式

令和2年1月15日(水)16時10分より、札幌グランドホテルにて、ご来賓、企業代表など多数のご出席をいただき、開催いたしました。

会員企業において、日ごろの清掃や設備管理業務等に精励し永年の努力が認められた優良従業員101名と、当協会が募集した平成31年度労働災害防止論文・標語の入選者10名の方々です。表彰の栄誉に輝いた皆様にここからお祝い申し上げます。

表彰式は本館3階「玉葉の間」で行われ、開会の辞を安藤副会長、岡田会長の式辞、ご来賓の北海道知事鈴木直道（代理 斉藤 聡 北海道

保健福祉部健康安全局食品衛生課長）、札幌市長秋元克広（代理 高木 浩 札幌市保健福祉局保健所生活衛生担当部長）に祝辞をいただいた後、ご来賓の紹介・祝電の披露があり、その後、優良従業員一人ひとりが紹介され受賞者を代表して北海道ビルサービス(株)加藤美奈子さんに表彰状と記念品が授与され、労働災害防止論文・標語入選者へ表彰状、記念品が手渡されました。

引き続き、受賞者を代表し北海道クリーン・システム(株)南崎絵梨花さんから謝辞があり、水野副会長の閉会の辞にて表彰式は滞りなく終了し記念撮影後、別館2階「グランドホール」にて祝宴が催されました。



安藤副会長 開式の辞



来賓席



優良従業員 受賞者 全体



受賞者代表 加藤美奈子さん（北海道ビルサービス(株)）



謝辞 受賞者代表 南崎絵梨花さん（北海道クリーン・サービス(株)）



水野副会長 閉会の辞

◆ 優良従業員と労働災害防止論文・標語の入選者の方々 ◆



第57回 優良従業員受賞者



平成31年度 労働災害防止論文・標語入選者

平成31年度 東北・北海道BM協議会（旭川市）

本年度は8月22日、23日の両日にわたり106名が参加し、北海道旭川で開催いたしました。

会議は、石田 信（一社）北海道ビルメンテナンス協会副会長の開会の言葉に続き、伊藤英明（公社）全国ビルメンテナンス協会東北地区本部長の挨拶、一戸隆男全国協会会長の挨拶、開催地を代表して、山田春雄北海道地区本部長が挨拶を行いました。

特別講演では、「伝えるのは、命」と題して、動物本来の能力や習性を見せる「行動展示」を

考案いたしました旭山動物園 坂東 元 園長から講演をいただきました。

会議では、「外国人技能実習検定並びに新たな外国人材受入試験の実施・運営について」、「ビルメン業界が直面する諸課題への横断的な取り組みについて」、「各道県のビルメン業界が直面する課題・対応など」について、佐々木洋信全国協会副会長、堀口弘全国協会常務理事、各道県協会長から説明を受けたあと意見交換を行いました。

会 議 の も よ う



平成31年度 労働安全衛生大会

1 室蘭地区協議会

9月11日(水)13:30～「ホテル サンルート 室蘭」にて9社63名が参加し開催しました。

中川事務局長の司会進行で始まり、安藤会長の挨拶があり開会しました。

講義・講話終了後、藍原副会長の閉会挨拶で本日の講義・講演内容を、1人ひとりが実践し災害撲滅を誓い“ご安全に”の一声で労働安全衛生大会を閉会しました。

(1) 講義……室蘭労働基準監督署 副署長 徳本 勝徳 様が「働き方改革関連法案について」と題して、まず直近のビルメンテナンス業の災害状況・推移を統計資料で説明され、最近の傾向として50歳以上の割合が50%

以上で、転倒災害が多数発生し、事故に遭うと1ヶ月内以上6ヶ月未満の休業となることなど解説されました。働き方改革では、資料に基づき「2019年4月」からの働き方の具体的な説明があり、時間外労働の上限月45時間、年360時間、最低賃金改定861円、事業主の責務として年次有給休暇の確実な取得、年5日以上取得させなければならないことや、正規・非正規労働者の間の不合理な待遇差の禁止など相談窓口の活用についてお話をいただきました。

(2) 講演……「高所作業における安全について」
(株)ピカコーポレイション 札幌営業所
所長 小笠原 裕介 様



安藤会長 開催挨拶



室蘭労働基準監督署副署長 徳本様の講義



室蘭労働安全衛生大会 参加者



(株)ピカコーポレイション札幌営業所所長 小笠原様講演



(株)ピカコーポレイション札幌営業所所長 小笠原様講演



藍原副会長 閉会挨拶

2 札幌地区協議会

9月25日(水)13:30～「ビルメンテナンス会館」にて24社61名が参加し、小林副会長の司会進行で始まり、北海道協会 岡田会長の主催者挨拶で開会しました。

講義・講演終了後、中島会長（札幌地区協）より閉会挨拶があり、講義・講話の内容を各社の安全衛生活動に積極的に活用いただき災害撲

滅に活用願いたいと話され閉会しました。

(1) 講義……札幌中央労働基準監督署 安全専門官 田口 恭平 様が、「ビルメンテナンス業における労働災害防止について」と題して、札幌地区の災害発生状況を話され、平成26年より減少し、ほぼ横ばいで推移していますが、昨年死亡事故が1件発生、住宅改修工事の室内清掃で小型発電機（内

燃機関)を室内で使用し十分な換気がされず一酸化炭素中毒による死亡事故を解説。事故型別で1転倒・2墜落・転落・3動作の反動・無理な動作、転倒の起因は通路が原因と指摘され、危険マップの作製やステッカーを掲示し注意喚起する事が重要で、転倒災害の典型的3パターン「滑り」、「つまづき」、「踏み外し」を示され防止策を話された。作業に適した靴は、JIS T8101などの基準を参考に選び、リスクアセスメントの観点からSTOP転倒災害プロジェクトを活用し事故の見える化を推進しようと強調された。転落・墜落では、梯子・脚立の使用の注意点、保護帽の正しい装着など話

され、災害事例では、発生状況・原因・対策を解説し、年代別災害集計で50代以上の災害が増加していること、全産業、特にビルメンテナンス業が顕著であり、加齢に伴う身体能力の変化をグラフで20代と50代の比較を示され、高齢者の安全と健康確保のチェックリストをエイジアクション100(厚生労働省)のwebサイトで紹介していることなど、「働き方改革関連法」の全体像を解説していただきました。

(2) 講演……「管理者のための労働災害防止の知恵」

(一社)北海道ガラス外装クリーニング協会
副会長 高橋 俊彦 様



司会進行 小林副会長



北海道協会 岡田会長 主催者挨拶



札幌中央基準監督署 安全専門官 田口様の講義



安全衛生大会 参加者



(一社)北海道ガラス外装クリーニング協会 副会長 高橋様の講演



札幌地区協 中島会長 閉会の挨拶

3 苫小牧地区協議会

10月9日(水)13:30～「苫小牧市民会館」にて11社52名が参加、石川事務局長の司会進行で始まり、水野 苫小牧地区協会長の開催挨拶、主催者として岡田 北海道協会会長の主催者挨拶があり開会しました。

講義・講話後、苫小牧地区協議会 福士副会長の閉会挨拶で労働災害撲滅を誓い閉会しました。

(1) 講義……苫小牧労働基準監督署 署長 桜田 勝幸 様が「ビルメンテナンス業における労働災害防止について」と題して、現在のビルメンテナンス業の災害状況・推移を

統計資料で説明され、苫小牧管内清掃業の死亡事故は0件、休業4日以上は、8月末現在9件で前年度比較14.5%減・過去5年で4日以上の災害発生は51名、内訳として転倒災害が26名で50%(内1ヶ月以上の災害13名)、被災者年齢では、「50才から65才未満10名」、「65才以上8名」※26名中(50才以上18名70%)を占めている。また、転倒災害、墜落転落を、事故事例で解説いただき、梯子・脚立、使用方法、安全帽の正しい装着で、怪我の軽減される事を話され、労働衛生では、定期健康診断で、

異常所見が認められた労働者には、医師から意見を聞き、労働者の実情を考慮して、必要な対策が求められることや、ストレスチェックの実施、化学物質による健康傷害の防止、SDSチェックリストを活用し、作業に生かすことが肝要であること。働き方改革については、長時間労働をなくし年次有給を取得しやすくする等、ワークバ

ランスの実現を目指し有給休暇5日以上の取得の必要があることを説明されました。転倒災害でも、4S(整理、整頓、清掃、清潔)を実行することが、災害防止の基本であり、皆さんで必ず実行するよう話されました。

- (2) 講演……「高所作業における安全について」
(株)ピカコーポレイション 札幌営業所
所長 小笠原 裕介 様



苫小牧地区協議会 水野会長 開催挨拶



北海道協会 岡田会長 主催者挨拶



苫小牧労働基準監督署 署長 桜田様の講義



労働安全衛生大会 参加者



(株)ピカコーポレイション札幌営業所所長 小笠原様講演



苫小牧地区協議会 福土副会長 閉会挨拶

4 北見地区協議会

10月15日(火)13:30～「ホテル黒部」にて22社59名が参加し、植原事務局長の司会進行で始まり、北見地区協議会 宮武会長の開催挨拶、北海道協会 安藤健一副会長の主催者挨拶があり開会しました。講義・講話終了、小林副会長の閉会挨拶があり労働災害撲滅を誓い労働安全大会を閉会しました。

- (1) 講義……北見労働基準監督署 署長 菊地

俊文 様が、「ビルメンテナンス業における労働災害防止について」と題し、誰でも安心して働ける環境づくり（平成31年度重点対策）働き方改革の柱として、長時間労働の抑制、過重労働による健康障害の防止、36協定の適正化、労働時間の適正把握、過労死等防止対策を効果的に推進、法定労働条件の履行確保、労働基準関係法令方等の積極的な情報発信など、働き方改革を丁



北見地区協議会 宮武会長 開会挨拶



北海道協会安藤副会長 主催者挨拶



北見労働基準監督署 菊池署長様の講義

寧に解説いただき、管内の災害状況、死傷災害の災害事例では、転倒、墜落・転落等、重篤な災害や、死亡事故の詳細な説明がありました。安全帯から「墜落防止装置」に変わった説明や梯子・脚立の取り扱いを改

めて説明いただきました。

- (2) 講演……「高所作業における安全について」
 (株)ピカコーポレイション 札幌営業所
 所長 小笠原 裕介 様



労働安全衛生大会 参加者



(株)ピカコーポレイション札幌営業所所長 小笠原様講演 北見地区協議会 小林副会長 閉会挨拶



5 釧路地区協議会

10月18日(木)13:30～「釧路市生涯学習センター（まなぼっと幣舞）」にて17社42名が参加し開催しました。

釧路地区協議会本田事務局長の司会進行で始まり深井会長挨拶、北海道協会 安藤健一副会長の主催者挨拶で開会しました。

講義・講話後、臼井副会長の閉会の挨拶では、労働災害撲滅を誓い閉会しました。

- (1) 講義……釧路労働基準監督署 安全専門官 齊藤英美様「ビルメンテナンス業における労働災害防止について」と題し、1. 北海道最低賃金 10月3日より861円となったこと、2. 労働災害発生状況では、統計資料を解説いただき、過去5年間の災害発生状況は平成25年を基準すると、微増増加し横ばい状態で、事故型では「転倒、墜落・転落」で全体の60%を占め、起因物別では「仮設物・建築物、構築物等」で36.8%と最も多く、「環境等」、「用具」と続き、これらで全体の7割超え。ビルメンテナンス業の災害の6割強は転倒、墜落・転落災

害であり、冬季（11月から3月）に集中し、この期間の転倒災害はビルメンテナンス業災害の3割で、災害の程度は、休業1月以上6割強、被災者年齢では、60歳代で最も多い状態であること。3. 安全、リスクアセスメント 企業全体で作業・環境の危険を見積し、作業計画に危険度を示し、危険の数値化を共有認識し、安全行動を実行し推進しなければならない。例として北海道冬季災害ゼロ てんとう防止運動を積極的に各企業が取り入れ推進する事が好事例になること。4. 災害事例として、・凍った路面に足を滑らせ転倒、・ビルの窓ガラス清掃中の墜落など事例の解説があり、「ロープ高所作業」安全衛生規則の改正、交通労働災害、過重労働による健康障害、熱中症、職場の腰痛予防、働き方改革など多岐に渡りポイントを解説いただきました。

- (2) 講演……「管理者のための労働災害防止の知恵」

(一社)北海道ガラス外装クリーニング協会
 副会長 高橋 俊彦 様



釧路地区協議会 深井会長 開会挨拶



北海道協会 安藤副会長 主催者挨拶



釧路労働基準監督署 安全専門官 齊藤様の講義



墜落防止装置 ぶら下がり 体験 (一社)北海道ガラス外装クリーニング協会 副会長 高橋様の講演 釧路地区協議会 臼井副会長 閉会挨拶

6 十勝地区協議会

10月19日(金)13:30～「とちか館」にて19社53名が参加し開催しました。

高氏事務局長の司会進行で始まり、北海道協会 岡田会長の主催者挨拶があり開会しました。

講義・講話終了後、宮前副会長の閉会挨拶で労働災害撲滅を誓い閉会しました。

(1) 来賓挨拶 帯広労働基準監督署 署長 伊原 秀明 様

福士 亘 北海道労働局長メッセージ代読

(2) 講義……帯広労働基準監督署 安全専門官 木下 善勝 様が「ビルメンテナンス業における労働災害防止について」と題して、帯広管内の災害状況を統計資料で解説され、北海道の死亡災害は2年連続ワースト1で道内の基準監督署では、平成28年以降帯広がワースト1、2で推移しているとの説明がありました。また、ビルメンテナンス業の過去10年の災害発生状況、事故の型別の割合は転倒が40%、墜落・転落が25%を占めていること、災害の特徴は転倒災害が約4割(冬季多発)、被災者は50歳以上割合が高く、パート労働者が多く安全衛生教育が徹底しにくいこと、作業現場が広く分散し、監督者指導が徹底しにくいこと、就業場所が顧客の施設、設備であるため作業環境の安全化については、顧客の同意を

得る必要と問題点を述べられた。今日の道新で上士幌でフォークリフトに引かれ死亡事故が報じられた。死亡災害事例では、(東京)階段から転落し頭部を強打(女性70代)死亡、(埼玉)脚立から転落して頭部を強打(男性70代)死亡、(東京)ブランコと共に墜落して頭部を強打(男性50代)死亡、(愛知)開口部から転落して腹部強打(男性60代)死亡、(東京)写真撮影中に屋上から転落する(男性50代)死亡、事故の状況を話された。梯子・脚立・ヘルメットについて、取り扱い・使用方法・選び方など自身の身を守るための、チェックポイントを話された。最後に「十勝から死亡災害を撲滅しよう!」と掲げ、災害の多くは、不安全な状態と不安全な行動が重なった時に発生することを強調されました。管理者・監督者は現場を確認し不完全な状態と不完全な行動を見逃さない。労働者は自分の身を守るために、自ら不安全な行動をとらない。自分の技術を過信せず、基本を守る。それぞれの立場で実践し災害撲滅を強く警鐘された。

(3) 講演……「管理者のための労働災害防止の知恵」

(一社)北海道ガラス外装クリーニング協会 副会長 高橋 俊彦 様



北海道協会 岡田会長 主催者挨拶 帯広労働基準監督署 署長 伊原秀明様 帯広労働基準監督署 安全専門官 木下善勝様の講義



(一社)北海道ガラス外装クリーニング協会 副会長 高橋様の講演



墜落防止装置 ぶら下り体験



宮前副会長 閉会挨拶

7 函館地区協議会

10月23日(火)13:30～「函館五島軒本店」にて32社64名が参加し開催しました。

野戸理事の司会進行で始まり、函館地区協議会阿相会長の挨拶、北海道協会岡田会長主催者挨拶があり開会しました。講義・講演終了後、成田副会長より閉会挨拶があり、労働災害撲滅を誓い労働安全大会を閉会しました。

- (1) 来賓挨拶……函館労働基準監督署 署長 鈴木 勘次郎 様

ビルメンテナンス業（北海道）の災害状況は9月末現在4日以上の死傷者数は143件（前年2件増）、死亡者数は0件であります、昨年は死亡災害が7月に（函館）マンション屋上からの墜落、1月（札幌）一酸化中毒があり、他人事では済まないと注意喚起され、最も多い墜落・転落、転倒災害に遇わない・起こさないため、各社監督

者や従業員で安全作業再確認や指導・自己啓発の実施を促された。また本年4月から施行された働き方改革で、「中小企業における働き方改革実践セミナー」を11月8日に渡島総合振興局で開催されるセミナーに、積極的に参加され自社の取組みの疑問点の解消に役立てて頂きたいと話され、参加者の無災害を祈念いただき“ご安全に”と挨拶された。

- (2) 函館労働基準監督署 安全衛生課長 尾崎浩幸様が「ビルメンテナンス業における労働災害防止について」と題して、北海道全産業の災害件数6,836人（+160人）死亡災害63人（-18人）で、過去3年微増で推移している。北海道の死亡災害件数が平成28年、29年と2年連続ワースト1の不名誉な記録を更新した。また第13次労働災害防止計画（2019年～22年5年間）が作



函館地区協議会 阿相会長 閉会挨拶



北海道協会 岡田会長 主催者挨拶



函館労働基準監督署 署長 鈴木様 来賓挨拶



函館労働基準監督署 安全衛生課長 尾崎様の講義



㈱ピカコーポレーション札幌営業所所長 小笠原様講演



成田副会長 閉会挨拶

成さ死亡事故20%減少、休業4日以上
の死傷災害5%減少の目標でスタートしまし
た。災害事例では、・函館で30年7月、
マンション屋上からの墜落、・札幌で30
年1月賃貸住宅（リフォーム）で一酸化中
毒、・27年5月外窓清掃時、はしごから
転落など、調査資料をもとにリアルな解説
をいただいた。また、「墜落制止用器具」、

「梯子・脚立・ヘルメット」、「STOP！転
倒災害プロジェクト」のリフレットなどで変
更点、忘れては行けない重点項目を再度強
調し解説いただいた。

- (3) 講演……「高所作業における安全について」
(株)ピカコーポレイション 札幌営業所

所長 小笠原 裕介 様

8 旭川地区協議会

11月6日(水)13:30～「北洋ホール」にて28
社119名が参加し、小杉事務局長の司会進行で
始まり、旭川地区協議会山中会長の開会挨拶、
北海道協会安藤副会長の主催者挨拶があり開会
しました。講義・講演後、中 副会長より閉会
挨拶で労働災害撲滅を誓い閉会しました。

- (1) 講義……旭川労働基準監督署 副署長 衿
裕美 様が「ビルメンテナンス業の労働災
害防止について」と題して、本年9月現在、
管内の全産業の災害状況は、死傷者数369
件、前年に比べ5件増となり、ビルメン業
の型別災害状況は「転倒」・「墜落転落」・
「動作の反動」で70%を超え、過去の統計
と何ら変わらないこと、特にワースト1、
2の「転倒」・「墜落・転落」災害に“あわ
ない”、“起こさない”、取り組みが重要と
の説明がありました。転倒災害のパターン
は、「滑り」、「つまずき」、「踏み外し」に

気を付け、日頃から4S「整理・整頓・清
掃・清潔」“あきる事無く”身に着け実践
するしか、転倒災害防止は望めないことを
強調されました。また、他の対策として、
1 装備、2 安全行動、3 身体機能の維持が
重要で、安全行動のキーワードは「あせら
ない 急ぐ時ほど 落ち着いて」と 行動
前に復唱することまた、身体機能の維持
(筋力アップ) に努めなければ、災害は無
くならないことを力説された。墜落・転落
の防止は、「高さを侮らない」ことが重要
で、2m以上の作業所では用途に合った安
全帽を正しく装着し墜落防止装置を身に着
け自身で安全作業を行い自己保全するよう
話された。

- (2) 講演……「管理者のための労働災害防止の
知恵」

(一社)北海道ガラス外装クリーニング協会
副会長 高橋 俊彦 様



旭川地区協議会 山中会長 開会挨拶



北海道協会 安藤副会長 主催者挨拶



旭川労働基準監督署 副署長 衿様の講義



旭川労働安全衛生大会 参加者



(一社)北海道ガラス外装クリーニング協会 副会長 高橋様の講演



中副会長 閉会挨拶

平成31年度 安全講習会 (KYT研修)

令和元年11月13日(水)釧路地区14名、27日(水)札幌地区5名で昨年に引き続き、KYT研修をさとう安全コンサルタント代表佐藤尚武様を講師としてお迎えして、労働安全研修会を開催しました。

KYT研修は、一般にありがちな聴講のみの研修ではなく、受講者一人一人に役割を与え、各人の発言、行動を伴うアクティブラーニング形式で研修が進められました。

始めに、全員で指さし呼称を行い、続いて1班5、6名に分かれ、列や円陣を組んで一人一人の1分スピーチ、健康チェック、服装確認、安全唱和等、ツールボックスミーティングの手法を実演することにより、一人一人が徐々に発言し易い環境ができ、その後のKYT訓練では、それぞれの意見を積極的に交換することができ

ました。

イラストを使って危険要因を洗い出すワークでは、同じイラストから各社、各現場の様々な職場環境を基に、それぞれの視点から、危険因子が見つけれ、原因、対策を参加者全員が自ら考えること、発表することにより自主性が養われ、他者の意見を聞くことにより、自分では思いつかなかったことや、気づかなかったことに気づかされ、チームとして労働安全に取り組む手法を習得することができたと思います。

この研修会は、現場リーダー及び候補者等が安全職場を構築するために大変役に立ち、実践的な研修を通じてリスク察知及び回避、更にコミュニケーション等のスキルが格段に向上しますので、次年度以降も、機会があれば是非ご参加されることをお勧めします。



平成31年度 労働災害防止論文 金賞

安全最優先を目指して

北海道クリーン・システム株式会社 高 橋 真

労働災害はなぜ起きるのでしょうか。作業の慣れや過信により安全意識が薄れていき「いつも大丈夫だから」や「ちょっとくらいならいいか」等の自分勝手に不安全な行動が当たり前となり、基本的な作業手順やルールが省かれたままの作業を続ける事が労働災害に繋がる要因の一つであると私は考えます。労働災害を防ぐためには、安全意識を高め、慣れた作業といって甘く見ず、一つ一つの作業に責任を持ち、正しい作業手順で行うことが、労働災害防止に繋がると思います。

私の勤める資源リサイクルセンターでは、3つの工場において産業廃棄物及び資源物の手選別及び機械による中間処理業務を日々行っています。私の職場は5年間無事故を継続していましたが、残念ながら今年の4月に労働災害が発生してしまいました。決められたルールが守られていなかったことや、安全対策が足りない面もあった等、作業に慣れ過ぎてしまったことが原因でした。工場での作業は、まだまだ私達が気付いていない様々な危険が潜んでいる可能性がある事を思い知らされました。このことを教訓とし、今後の事故防止対策として作業環境の改善と安全意識を向上させるため、2つの取り組みを開始しました。1つ目は、ヒヤリハット事例の検討会です。毎月、社員から体験したヒヤリハットを集めて、その中から事故に繋がるような事象を題材とし、社員全員で打合せを行い、改善活動に繋げています。事例としては、「工場内を歩行中に重量物の運搬作業に使用するハンドリフターが置いてあることに気付かず、足を引っかけて転倒しそうになった」というヒヤリハット事例がありました。原因として考えられたのは、足元の不注意の他、工場で使用するハンドリフターの保管場所が決められていなかったため、使用後に乱雑に放置されていたことでした。皆で事故を防ぐための改善方法を話

しあった結果、保管場所を決め、ラインを引くことで明確化し、使用後は、必ず保管場所に戻すルールを追加し再発を防止しています。2つ目の取り組みは、危険予知訓練です。日常巡回や月1回開催している作業主任者とのミーティングで注意すべき事柄をピックアップし、題材を決めています。危険予知訓練では、個別やグループ討論を行います。その中で特に意見が多いのは、作業手順の省略等、様々な不安全行動が事故に繋がる危険因子となることから、自らの行動や危険箇所を見直し、安全を意識した作業を徹底しようという意見です。しかし、いざ作業になれば安全意識が薄れ、不安全行動が多々見られるのが現状です。そのため、日々の作業の中で管理者や作業主任者の指示や声かけをすることにより気づきを持たせ、安全意識が薄れないようにしています。

私を含め社員一人一人が、労働災害事例やヒヤリハット事例を人ごとでは無く明日は我が身と考え、危機感を持つことが重要だと考えます。労働災害を全て無くすことは難しいことですが、少しでも事故の発生リスクを軽減させることは出来るはずです。

安全意識の改革は一朝一夕では出来ず、時間がかかるとは思いますが、まずは決められたルールを再確認するための勉強会の継続と日常巡回や現場指導を強化して行きます。ヒヤリハット事例検討会や危険予知訓練といった労働災害防止対策については、取り組みそのものを形骸化させないように都度見直しを図りながら継続実施し、自分も含め社員一人一人の安全意識を高めて行きたいと思っています。

今後も、事故により仲間に悲しい思いをさせることのないよう、皆で協力し合い安全最優先を合言葉に声を掛け合いながら、安全で働きやすい環境を創ることで労働災害を防止して参ります。

平成31年度 労働災害防止論文 銀賞

業務災害(針刺し事故)と対策

北海道クリーン・システム株式会社 加藤 憲 太

私達清掃業務に携わる者にとって針刺し事故による業務災害は絶対に起こしてはなりません。

清掃業務はあまり危険な職業というイメージは無いと思われるかもしれませんが、針刺し事故はいつも身近に潜んでいます。

針刺し事故の事例と私の職場で取り組んでいる針刺し事故防止の対策を紹介いたします。

近年、商業施設内のトイレにインスリンの針がゴミ箱やサニタリーボックスの中、又は床に無造作に捨てられている事が多くなってきています。

それが注射針と気づかずゴミと思い、回収した清掃スタッフが指に針を刺すという事故が発生しています。

また、病院の現場では商業施設に比べ針刺し事故の可能性が格段に上がり、私の知っている病院で起きた針刺し事件事例では、清掃スタッフが医療用廃棄物の入ったゴミ袋から飛び出してきた大型注射針が厚手のゴム手袋を貫通して指に刺さった事例があります。(この注射針は、医療用廃棄物ゴミ袋に本来廃棄されるべきではありません。)

もう一つは、清掃スタッフが床清掃中にモップにゴミが絡まって除去した際、そのゴミの中の注射針に気づかず指に刺してしまうという事例です。

このような事例は、針刺し事故による感染症(HIV、C型やB型肝炎ウイルス等)に繋がるため、重大な事故と捉え私たちの職場では、従業員全員にどんな場所でも常に危険を予測しながら日々の業務に務める様に朝礼等を通じて指導、注意喚起をしています。

針刺し事故を防止するには具体的にどうすればいいのか、私の職場の取り組みを紹介し事故防止の一助になれば幸いです。

① 床に落ちているいかなるゴミも素手で触らない。

分別するときはトング等を使用する。

② ゴミ袋を手で抑えて圧縮しない。

圧縮する必要がある場合は道具を使用する。(ゴミ圧縮用のコンパネで作成した天板上から押す)

③ 運搬時はゴミ袋が体に触れないように抱えないで離して持つ。

この3項目を徹底しなければ事故は防げないと指導しています。

その他にも注射針を発見した場合、注射針を保管する容器をSK室に常備しています。

また、注射針を発見した日の終礼と翌日の朝礼で、いつ・どこで注射針が発見されたかを従業員に現物を見せて周知しています。

万が一針刺し事故が発生した場合の応急処置には次の様な方法を指導徹底しています。

① 出血部分の根元を押さえ、血液を絞り出し、患部を流水等(水道水)で洗い流す。

② 発見した注射針を専用の容器に保管する。

③ いつ・どこで、発生したのか具体的に現場管理者に直ちに報告させる。

④ 発生後、直ちに病院に行き治療、検査を受ける。この時には、職場管理者が同行することとしています。

以上の事柄を確実に実施し、その後、針刺し事故の注意喚起を朝礼、終礼で繰り返し行っています。

私達は、日々同じ作業をしていると必ず慣れが生じます。

その慣れが業務災害を起こす原因の一つであり慣れた作業においても、周りに危険がないかを常に予測し作業をする必要があります。

私もヒヤッとしたこと、ハッとしたこと等、また、事故が起きそうな場所や要注意箇所を事前に把握し、ハザードマップに反映させ、従業員同士で共有しています。

この取り組みを継続することで、従業員一人ひとりの安全意識を高めて、針刺し事故、転倒事故等の「業務災害防止」への徹底を図り、従業員の安全確保、事故撲滅に全力で取り組んで行きます。

平成31年度 労働災害防止論文 銅賞

シニア世代における働き方と労働災害について

ホクビサービス株式会社 大橋 玲子

現在日本における平均寿命の向上に伴い、働く人の平均年齢も上昇している。老後2,000万円問題が物議を醸し、年金受給資格も65歳から67歳に引き上げられるのではないかと、言われる昨今、ビルメンテナンス業界で、求人募集をすると60歳代の応募が多くみられる。元気なシニア世代が活躍してくれるのは、会社サイドとしても国からの助成金の対象となるし、働き手サイドとしても、年金だけでは不安な時代でもあるため、働ける場所の確保は、お互いにwin-winの関係の構築となる。

ただ、気をつけなければならないのは、やはり労働災害である。いくら、元気な60歳、70歳代と言っても体力、判断力の衰えは否めない。最近では、高齢者の運転ミスにより若い何人もの命が失われている。いつまで、運転するのかは人それぞれだが、免許証を返納すべき時の判断を誤ってはならない。このことについても世論では白熱した議論が交わされている。

しかし、現在、ビルメンテナンス業界において、シニア世代は重要な戦力となっているのは確かだ。最近では、外国人の技能実習制度を利用して、外国人を受け入れるのも可能だろうが、言葉の違いや、習慣、食生活、異宗教の外国人を受け入れる雇用側の体制作りに時間が掛かっていることも事実である。そうすると、マンパワーありきの、この業界でシニア世代は即戦力である。この大事な戦力を失うことは、避けなければならない。

労働災害は、ほんの一瞬の判断ミスにより大変な事故、事案になってしまう。では、それをどのように回避すべきなのか。それは、会社側の理解と働く当事者であるシニア世代の柔軟

性、そして若い世代とバランスを取った働き方ではないだろうか。シニア世代は、今までフルタイムで長時間働いてきたかも知れないが、やはり加齢に伴う体力、判断力の衰えは否めない。

そんな時は、短時間労働に切り替え、集中力を切らさず働ける環境にしてみてもどうか。日々の作業が体力的に厳しい場合は若い世代に任せるところは任せることも必要である。変に片意地を張らず、自分が習得した技術を若い世代に伝えていくこと、そして共に働くことがこれからのシニア世代に求められることであり、労働災害防止につながるのではないだろうか。若い世代には気が付かない配慮をシニア世代に補ってもらったり、技術面でシニア世代のキャリアを活かしてもらい、若い世代のお手本となってもらうことが重要である。会社サイドは、それを理解し受け入れ、シニア世代を活かした雇用環境を維持していかなければならないのである。

このような些細な一歩、お互いの気持ち一つで労働災害防止の抑止力になるのである。しかし、重用されるからと言って、シニア世代も昔は、昔は…などと言ってはならない。昔の話は、所詮むかしの話である。世代が変わって、戸惑うこともあるかも知れないが、そこは持ち前の経験で柔軟に対応しなければならないのである。

労災が老災になってはならない。パワーバランスが取れた職場に労働災害が起きるはずはない。これからの時代、シニア世代の方々には、細く長く、人生経験、仕事でのキャリアを活かし、頑張ってもらいたいものである。そして、労働災害の無い明るい職場作りに一役かって頂きたいと切に願うものである。

平成31年度 労働災害防止論文 銅賞

高齢労働者に対する労働災害防止対策

札幌施設管理株式会社 深山 幸雄

1. はじめに

日本は、出生率の減少に伴い、これから超高齢化社会を迎えます。総務省と厚生労働省の平成30年度の資料によると、高齢者の割合が28.1%、全人口の4分の1を超え、労働災害発生件数全体において60歳以上の占める割合は28.1%にもなっています。

今後、相対的な総労働人口の減少による求人率の増加、また健康寿命の上昇、あるいは年金支給年齢のアップにともない勤労者の実質定年の年齢もますます上昇していかざるを得ないものと考えます。私は、高齢労働者と共に現場で働いた経験を基に、今後増えていくと考えられる高齢労働者による労働災害についての対策を論じてみたい。

2. 高齢労働者の課題

高齢労働者は、加齢にともない心身機能が少しずつ若い時と比較し劣ってきます。この具体例をあげると、

- ①生理的機能のうち感覚機能、平衡機能が劣化していく。
- ②筋力の低下が始まり、脚力、腕の筋力が落ちていく。
- ③聴覚、視力が落ちていく。
- ④体力、持続力、集中力が落ちていく。

個人差はありますが、こうした傾向は加齢を重ねていくとともに増大していくことは、高齢者が働くうえで考えなくてはならない大きなリスクだと考えます。

3. 高齢者への労働災害防止対策について

(1) 転倒や落下事故対策

労働災害のうち、最も多いのが転倒や落下事故ですが、感覚機能、平衡機能が落ちていくこと、また脚力、腕の筋肉が落ちていくことから、ますますこの危険性が増していきます。

これについては

- ①高所作業があるものについては、単独で作業をしないで若い作業員と一緒に作業する。
 - ②脚立の使用にあたっては、軽量で安全性の高いものを用意して使用する。
 - ③作業前に、軽い運動をして筋肉をほぐし、身体を慣らすこと。
- などを心掛けさせるようにしました。

(2) その他の高齢者事故対策

高齢労働者にとって体力や集中力が、若い人

に比べて極端に低くなっていて、若い人と同じ内容の仕事が出来ません。作業内容を見直さず無理をさせると、記憶力や判断力の低下を招き、ミスなどを引き起こし怪我や事故につながります。

業務をする上で、いくつか実施した事例について報告します。

①夜間勤務に対する配慮

勤務していた職場は変則労働時間制だったため、朝早くからの勤務と夜遅くまでの勤務がありました。夜遅くまでの勤務に就いた次の日に朝早くの勤務に就くと、決まって高齢労働者の集中力が下がり、作業にもムラムダが増えていました。これは、いつか危険な事になると判断されたため夜間勤務の次の日は、出来るだけ休みを入れるようにしました。

②作業内容の見直しや作業の割り当て対策労働時間に対する配慮

高齢労働者は、長時間作業や重労働は身体的、体力的にも限界があります。このため作業時間、作業内容を見直しました。例えば、測定などの軽微な作業は高齢労働者に任せるなどしました。また作業の見直しにしても、若い作業員が1日で出来る作業を2日に分けて作業を組んでみたりして高齢労働者の負荷を軽減しました。こうした取り組みにより、小さな事故を激減させることができました。

この様に高齢労働者の労働については、様々な労働時間の短縮や勤務の仕方を見直すことで、事故は未然に防げるものと考えます。

4. おわりに

高齢労働者に対していくつかの対策をして、成果は上がったのですが、高齢になればなるほど現場作業がきつくなり現場でも対応出来なくなってくると考えます。これについては、作業軽減できる工具、安全性の高い器具をそろえる、若い人をサポートにつけて技術教育してもらうなど若い人材の育成を高齢労働者に担ってもらうなども一方策だと考えます。

高齢労働者に対する方策をいろいろ論じてきましたが、高齢労働者の労働災害対策は、個人、現場、会社が一体となって取り組んでいかなければならない、これからの日本の大きな課題であると考えます。

平成31年度 労働災害防止論文 佳作 より安全な職場環境に向けて

札幌施設管理株式会社 藤 原 努

労働災害に対する防止対策は今のままで良いのでしょうか。たしかに、少し前から比べると安全に対する意識は改善されているはずです。労働災害の発生件数も死傷者数も減少していて、それは国や関係機関の改善があったからでしょう。

しかし、大小にかかわらず労働災害は起きていて、まだ年に何百人と亡くなっております。

そこで私は、意識の循環サイクルを作るべきと考えております。三者の強い意識です。意識の循環サイクルを作ることによって徐々に強くしていけることがサイクルの強みです。三者とは、「会社」、「個人」、「仲間」です。

なぜ、意識か。現在の安全対策が社会の流れや動向から行っているようにみえて、業務として安全対策を行っているように思えるからです。

たしかに、半ば強制的に安全対策を行わせるのは間違っていないし、必要な時も必要なことでもあります。

ただそれでは、本当の意味での安全を目指すことが不可能ではないか。目指すべきところは、全員がやっていて良かったと思える事、必要性があると確信して行うべき事と思います。

まず会社としての意識とは、ゼロ災害で品質と信頼が得られるという強い意識を持つこと。数値では測れない価値を見出すことが会社の役目とする目標を掲げるべきです。

だから、利益よりも安全に対する費用を優先することが必要です。もちろん利益が無ければ経営は難しくなります。ただ、優先順位を変えるだけなのです。最初に考えるのは利益が「出る」「出ない」ではなく、安全を確保「出来る」「出来ない」を判断するということです。安全に対する費用とは、安全靴やヘルメットにお金

をかけるだけではなく、安全作業ができる納期、作業場所での安全な環境を整備できるかなどです。

つぎに個人として、絶対に事故を起こさないという強い意識が必要です。時には怖い、危ない、自信がないと思ったらやめる勇気も必要でしょう。ただ作業に没頭してしまうと危険予知が薄れていくことは誰もが経験していることと思います。

だから仲間として、作業を行わない時は監督者としての意識、作業を行っている時は監督者を信頼して作業に没頭できる環境、関係を構築していく意識が必要です。一人より二人、二人より三人での作業が安全となるよう意識することです。

これらを成し遂げるためには、会社としてのサポートが必要です。例えば、一人作業を行わせない。無事故だったことについて報酬を与える。そのことによって、安全作業に対する行動、発想を生み出し、個人個人の意識が変わっていくのではないのでしょうか。そして、会社として将来の見通しを社員に示し、どのように価値を見出していくかの目標を安全を通して見出していくことが重要です。

いまのは、一例に過ぎないですが、会社によっても環境が違えば目標も違う。すべての会社の安全対策が同じではなく、同じなのは意識のサイクルとすべきです。

サイクルが生まれれば自然と安全に対する意識は強まり、外部から絶大なる信頼を獲得すればブランドとなり、ブランド化を目指せば個人が不満を抱くことはないはずです。

安全に対する意識が当たり前になれば、社会として本望ではないだろうか。

平成31年度 労働災害防止標語 入賞者

金賞

安全は ひとりひとりの心掛け みんなでつくるゼロ災害

(株)ベルックス 西村直也

銀賞

急ぐな 焦るな 慌てるな いつでも どこでも 危険予知

北海道クリーン・システム(株) 福井 誠

危険だと 気付いたあなたが 責任者

北海道クリーン・システム(株) 齊藤 喜代子

銅賞

安全は ルールとマナーの積み重ね あなたが主役の「ゼロ災」職場

札幌施設管理(株) 及川 治之

慣れた作業に 落とし穴 急がず焦らず 過信せず

日本クリーン北海道(株) 関原 真菜美

「まあいいか」 ゆるむ心に 潜む事故

(株)トーショウビルサービス 岩本 幸雄

佳作

合図と確認怠るな 指差し声出し危険予知

北海道クリーン・システム(株) 最首 和也

焦りやイライラ事故の元 たまに息抜きリフレッシュ 心にゆとりで安全作業

札幌施設管理(株) 笹原 孝志

一歩先 危険の芽を摘み ゼロ災害 手元・足元 安全作業

北海道クリーン・システム(株) 菅野 由紀子

あとでよい 軽い気持ちが 事故を呼ぶ

ホクビサービス(株) 高城 穰

危ないぞ 言える勇気と聞く心 みんなで作ろう ゼロ災職場

(株)クリーン開発 長谷川 勤

安全は 無理なく 無駄なく 手順良く

日本クリーン北海道(株) 若山 賢一

急がず、あせらず、一呼吸、その余裕が身を守る。

北海道クリーン・システム(株) 福岡 廣一

いつも慣れているこの場所もちよっとの油断で大事故に！！	北海道クリーン・システム(株)	阿 部 ゆかり
運転は心のゆとりと思いやり	協和総合管理(株)	阿 部 知 弘
気を抜くな 少しの油断が 事故招く	(株)トーショウビルサービス	安 保 祐 希
危険予知 慣れた作業に落とし穴 手を出す前にまず確認	札幌施設管理(株)	熊 谷 昌
危険予知 見たら報告すぐ改善 ゼロ災職場は みんなの誇り	北海道互光(株)	佐久間 伸
気になった それは立派な 危険予知	北海道クリーン・システム(株)	石 澤 匡 晃
今日だけと 省いた手間が 事故の元	北海道互光(株)	若 井 紗 織
気をつけよう「たしか」と「だろう」の落とし穴	北海道クリーン・システム(株)	山 本 眞利子
時間ない あせる気持ちに ひそむ事故	(株)クリーン開発	木 下 登志喜
自信と過信は紙一重 自己を戒め事故防止	(株)ベルックス	川 崎 直 人
ゼロ災害 一人ひとりの 心がけ	(株)ベルックス	田 口 恵美子
助け合い チームワークで いい仕事	ホクビサービス(株)	黒 澤 武
ベテランも 初心にかえって 再確認	北海道互光(株)	矢 根 英 子
報・連・相 習慣づけて 事故防止	(株)クリーン開発	花 田 はるみ
見る目 気付く目 注意の目 基本に戻って 再確認	北海道クリーン・システム(株)	加 藤 貴 彦
ゆずりあい やさしい運転 あなたから	(株)トーショウビルサービス	中 野 史 子
指先に 意識込めて ゼロ災害	北海道クリーン・システム(株)	研 谷 正 三
忘れるな！誰もが持ってる ヒヤリの体験 次に活かそう	危険予知 日本クリーン北海道(株)	齊 藤 裕 子
忘れるな ルールがある事 守る事	北海道クリーン・システム(株)	工 藤 由樹子



各地区協トピックス

札幌 ●ボランティア清掃

昨年、一旦中止いたしました「ボランティア清掃」を従前の5施設から3施設に対象施設を縮減し、9月12日に実施いたしました。例年のことではありますが、施設側からは、日頃自力ではできない箇所の作業をしていただいたことや、その仕上がりに、“明るくなった”、“きれいになった”と大変喜んでいただきました。今年も『北海道建設新聞』が取材に来られ、9月13日にはこの事業が記事として掲載もされるなど、この社会奉仕活動が社会貢献の一環とし

て評価をいただいていることを実感するとともに、私共ビルメンテナンス業を営む企業による地域社会への貢献活動は、今後も継続していければと改めて思うところです。昨年中止にも関わらず、ボランティア清掃をご快諾いただいた札幌市および施設関係者の皆様、当活動にご参加いただいた会員企業ならびにスタッフの皆様、資機材を提供くださった㈱セイハン様、㈱リンレイ様には、心より厚く御礼申し上げますと共に、会員企業の皆様には働き手不足で厳しい状況とは存じますが、今後ともご協力くださいますようお願い申し上げます。



●ボウリング大会

11月1日(金)に「ディノスボウルノルベサ」に於いて、13社・39名の皆様にご参加いただき、「2019年度 札幌地区協議会 ボウリング大会」を開催しました。

今年は会場を市内中心部に変更し、2ゲームで順位を競いました。

札幌地区協議会の中島会長のご挨拶に続き、大会実行委員長の小林理事よりルールを説明し、練習投球の後、参加者を代表して、北海道クリーン・システム㈱の渡邊 健児さんに始球式を行っていただきました。

会場は楽しく盛り上がり、無事にゲームは終了しました。



旭川 ●ビルメンテナンス業界研修会

7月19日(金)午後6時よりアートホテル旭川において、旭川地区協議会会員企業25社48名非会員企業2社2名、メーカー2社2名総勢52名が

出席し開催されました。山中智雄旭川地区協議会会長挨拶の後、特別講師として海老子川 雄介氏 (LocaL, Inc代表取締役) をお招きし、『異業種から見たビルメン業～魅力ある企業として』と題して講話があり、出席者からも質問が飛び

交うなど熱心に聞き入っておりました。

乾杯の発声を山田春雄名誉会長で宴が始まりました。

旭川もこの日は30度を超える猛暑で、出席者はビールでカラカラな喉を潤しておりました。



結びは、二坂旭川地区協議会理事の三本締めで、業界のさらなる発展を祈念して幕を閉じました。短い時間でありましたが見識・親睦を深める有意義なひと時でありました。



●ボウリング大会

11月15日(金)ディノスボール旭川にて開催し、15社39名が参加しました。

競技終了後、場所を3・6街に移し表彰式を実施、会員相互の親睦を深め有意義な時間を過ごしました。



北見 ●親睦パークゴルフ大会

9月11日(水)13:00より、2019年度パークゴルフ大会が、北見市東河川敷パークゴルフ場で開催されました。

西村理事の挨拶、ルール説明の後、男女合わ

せて14名が4チームに分かれてゲームがスタート、熱戦を繰り広げました。

前日までの好天から一転し、生憎の空模様となりましたが、全員最後までプレーし、楽しいひと時を過ごしました。



釧路 ●第1回技術向上研修会

7月18日(木)14時から釧路市交流プラザさいわいにおいて、令和元年度第1回技術向上研修会を開催しました。

今回は、シーバイエス株式会社様のご協力により、「AIロボット「Whiz」の活用によるビルメンテナンス業界の活性化」を主題とし

て講演をいただきました。

この研修会は、会員はもちろん、非会員にも広く呼びかけ、非会員3社を含め40名のご参加をいただきました。

講演では業務用清掃ロボットの最新情報並びに活用事例等を説明後、実機によるデモンストレーションを行いました。



●第2回技術向上研修会

10月8日(火)釧路市交流プラザさいわいにおいて、「外国人技能実習制度」について研修会を開催しました。

前半は、株式会社ホリイ事業開発部長 又野直也様により、技能実習生制度及び特定技能制度の解説と日本における外国人労働者の就労実態等が説明されました。

後半は、中和石油株式会社事業開発部人材サービス部兼ビルメンテナンス事業部次長 菅田浩志様により、同社が行っている外国人技能実習生の雇用実例、及びベトナムで展開している日本語センターの開校から、送り出し機関の設立

についての紹介がありました。

研修内容は実例に基づいていることから、リアルな内容が多く、更に送り出し事業の展開により、送り出す段階で日本の労働環境への適応力が高まったこと、より多くの受け入れ企業並びに生活環境面等の情報を伝えることができるようになり、実習生に安心感が高まり、受入後のミスマッチが軽減されていることが説明されました。

座学研修会の場合、質疑はあまり出ないことが多いのですが、複数の質問が出る等関心の高さが伺え、今後ますます拡大していく労働人口減少問題への対策の一つとして、貴重かつ有意義な研修会となりました。



十勝 ●ビルメン・警備業合同ゴルフ・パークゴルフ・ビール会の開催

北海道警備業協会帯広支部との合同により、7月12日(金)にゴルフ・パークゴルフ・ビール会が開催されました。ゴルフは帯広国際カントリークラブにて午前9時半より14名が参加し、パークゴルフは十勝川公園パークゴルフ場にて午後

1時より28名が参加して行われました。

その日の午後6時30分より、とかち館にてビール会を開催し約135名が参加し親睦と交流を深めることが出来ました。





● 苫小牧 ● 清掃奉仕活動（ふるさと海岸ゴミ拾い）

7月8日(月)13:30より、「苫小牧地区協議会」にて、清掃奉仕活動（ふるさと海岸ゴミ拾い）を実施しました。

当日は、晴天に恵まれ、会員11社、29名が参加し、水野会長の挨拶の後、作業開始となりました。

各自協力しあいながら「燃えるゴミ」と「燃えないゴミ」に分けて収集作業を行いました。実際にはふるさと海岸の東側にある空き地（花火会場）のゴミの量がひどかったため、そこまで範囲を広げて行ない、無事に終了することができました。



● 苫小牧市との入札制度に係る意見交換会

11月11日(月)14:00より、苫小牧市役所にて苫小牧市財政部契約課と、ビルメンテナンス業における主に入札制度に関する内容の意見交換会を行いました。

苫小牧市財政部契約課より、課長 野表彰子様、主査 北畠靖英様、当会顧問 議会議員 矢嶋翼様、地区協議会より水野会長、福士副会長、石川事務局長、原田会計、輪島監査、志田教育部長、阿部広報の参加がありました。

テーマとして

1. 苫小牧市内清掃業における最低賃金及び人材不足に伴う賃金上昇について
2. 入札時における指名業者の選定方法及び長期継続型契約の問題点について

3. ビルメンテナンス業における人材確保の取り組みと企業間連携の必要性について
4. 清掃管理方法の時代に沿った清掃仕様内容の変更について
5. 最低制限価格の見直しについて

掲げております。
苫小牧市財政部契約課より、色々な問題点に関しては他市がどのような入札制度を行っているかを調査している。現状抱える問題点として、入札時に提出する内訳書（積算書）のフォーマットがより現場の詳細が反映できるものに統一することはできないか大変苦慮しており、特に後者においては、苫小牧地区協議会から内訳書に関しての提案をさせて頂くことになりました。

今後、発注側、受託側の意見を交換していき、施設を安全で高いレベルでの維持管理業務が遂行できるための第一歩が踏み出せたとても意義のある会となりました。



室 蘭 ●清掃奉仕活動

悪天候で順延していました清掃奉仕活動を3年ぶりに、9月19日 室蘭市崎守町の白鳥湾



展望台周辺で20人が参加し実施いたしました。
清掃は高圧洗浄車を使った天井や壁の汚れ落としや、展望台に通じる階段の手すりの清掃、草刈などに取り組みました。

函 館 ●ボランティア活動

7月6日(土)07:00開始(1時間程度)、函館市土木主催：大森浜環境美化活動(湯川漁港の海岸清掃)に本年も参加いたしました。

当日は、天気にも恵まれ程良い気温の中、18社計38名という多くの方が集まっていただき海岸沿いのゴミ拾いを行いました。市町村の分別方法に従って、各自火ばさみとごみ袋を持ち担当エリア(約200m)を隈無く歩いて綺麗な海

辺を取り戻りました。昨年より、当地区協議会で作ったベストを今年も着て作業にあたり、団体のアピール、統一感など非常に好評を頂いております。

昨今は何処の企業様も人手不足で悩んでいると思いますが、この活動を通してより良いイメージからその解決へ結びついてほしいなと思います。

これからも継続してこういった活動を函館地区協議会では行ってまいります。



●ボウリング大会

毎年の恒例行事である、函館地区ボウリング大会が10月16日(水)ラウンドワンスタジアム函館店で行われました。参加者は14社、42名で昨年よりも業務等の都合で若干少ない人数での開催となりました。今年も参加者全員が楽しめるように、マイボール禁止、ハンディキャップ無しというルールで、店員さんの掛け声により

一斉にスタート！慣れない運動での2ゲームというのはなかなか骨の折れる作業ですが、怪我等もなく無事に全員が投げきりました。

表彰式では団体、個人とそれぞれ賞が用意されており、団体では名美興業(株)、個人では(株)TSC・テスコの工藤さんがそれぞれ優勝しました。

参加した方たちにとって他社との情報交換や交流を深める良い機会になったと思います。



新 会 員 紹 介

正 会 員



[入 会 月] 2019年8月
[所 属 地 区] 札幌地区協議会
[社 名] 嶋産業株式会社
[協会届出代表者] 代表取締役 嶋 大輔
[住 所] 〒075-0006 芦別市北6条西2丁目8番地の14
電話 0124-22-3239 fax 0124-22-3385

この度、ビルメンテナンス協会に入会させていただくこととなりました株式会社嶋産業 株式会社でございます。

会社設立は昭和42年、今年で53年目を迎えます。当初は石炭鉱業から興った会社ですが、昭和63年頃よりビルメンテナンス業・警備業に進出し、主に芦別市近郊を営業エリアとし事業を展開してまいりました。現在では市営住宅の指定管理を受けるなど、地域の様々なニーズに対応し、地域に根差した総合的なサポート体制の構築を目指しております。今の変化が激しい時代に対応していくには、業界の情報とネットワークが重要かつ必要と考えておりますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

正 会 員



[入 会 月] 2019年12月
[所 属 地 区] 札幌地区協議会
[社 名] 株式会式興栄建設
[協会届出代表者] 代表取締役 正木 翔司
[住 所] 003-0011 札幌市白石区中央1条3丁目1-33
石野ビル2F
電話 011-887-0318 fax 011-887-0319

この度、ビルメンテナンス協会に入会させていただくこととなりました株式会社興栄建設でございます。

弊社は昭和52年に建設業を中心に設立しました。現在はファシリティ事業部として、非常用発電機の疑似負荷試験をメイン事業として活動しております。

今後はビルメンテナンス協会会員として、お客様にとってより安心で安全なサービスの提供をモットーとし、信頼厚い会社となれるよう努力、精進してまいりたいと思います。

また、ビルメンテナンス協会の発展のために、微力ではありますが尽力してまいりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

正 会 員

[入 会 月] 2019年12月
[所 属 地 区] 札幌地区協議会
[社 名] 株式会社池内システムサービス
[協会届出代表者] 代表取締役社長 池内 和正
[住 所] 〒060-0061 札幌市中央区南1条西2丁目18番地
電話 011-261-8000 fax 011-241-5500

製品情報

『超電解水』の仕組みと効果

株式会社 セイハン クリーン事業部

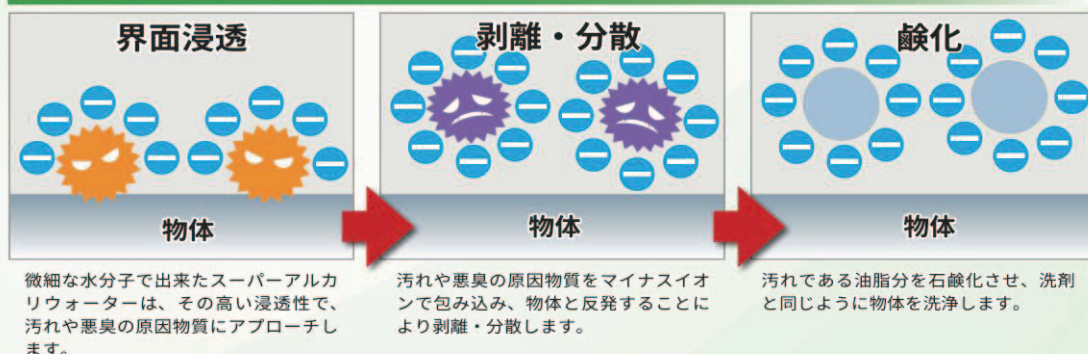
超電解水(スーパーアルカリウォーター)とは?

99.9%が「水」で出来ています。

原材料は身近な「水」。
特殊なフィルターで不純物を取り除き、生成された洗浄水。
放置すると水に戻る、安全・安心の究極のエコロジー洗浄水です。

pH 値 13.1 の濃度は強アルカリ性に属しますが、苛性ソーダなど危険物でなく、電子イオンを最大限に持った強アルカリイオン水です。

洗浄力の仕組み



電解水は 界面活性剤ゼロ、色ゼロ、臭いゼロ、COD や BOD ゼロ

水だから・・・安全

スーパーアルカリウォーターは強アルカリ性の「水」です。人体に有害な物質は含まれておらず、洗剤残留による心配も無く、安全な商品です。

水だけど・・・強洗浄

アルカリ性の力で、頑固な油污れから、たばこのヤニまで強力に除去します。強力なアルカリ性洗剤と比較しても遜色無く、かつ幅広くご使用できます。

水なので・・・環境配慮

薬品、合成剤を使用しておりませんので、発泡による水質汚染がありません。本製品は空気に触れるとpH濃度が下がって水に戻ります。



S13.1 (pH13.1)

規格

・2kg ボトル×6本入
・4kg ボトル×4本入



S12.5 (pH12.5)

規格

・2kg ボトル×6本入
・4kg ボトル×4本入



S12.5 (pH12.5)

規格

・20kg × 1箱

業界最高規格の pH13.1 は魔法の水

汚れにあわせて希釈倍率を変えて使える



ホテル客室の総合清掃

浴室・トイレ・カーペットのシミ（別枠参照）・テーブル等に噴霧又は吹き上げにて清掃します。



キッズルームの管理

吹き上げ等で遊具や床に着いた手指の油を除去し、除菌します。洗剤残留物が無いため子供たちにも安全です。



ロッカーームの除菌と消臭

スプレーガン等で噴霧し拭き上げると消臭も効果的に行えます。



事務機器・その他の清掃

水の使えるすべての場所に、スプレーガン又は吹き上げにて清掃を行います。



店舗床の清掃

スーパーアルカリウォーターに浸したモップを絞って吹き上げします。トイレの床は高濃度で使用する」と消臭効果も期待できます。



カーペット等の染み抜き

スプレーガンにて噴霧し、素材に合わせてブラシで刺激を加えウエスで吸着回収します。※染色されたシミは取れません。



タイルカーペット清掃

スプレーガンや噴霧器で塗布し、ポリッシャー等のマシンでポリッシングします。



嘔吐物処理（ノロ対策）

汚物を中心とした半径2メートルに散布しペーパーなどで回収・処理し、再度散布し洗浄します。その後次亜塩素酸ナトリウムの噴霧処理を行います。



照明機器の清掃

スーパーアルカリウォーターを浸透させたクロスで絞って拭き上げます。その後、乾いたクロスで拭き上げます。



ガラスや鏡の清掃

スーパーアルカリウォーターを浸透させたクロスで絞って拭き上げます。その後、乾いたクロスで拭き上げると、水跡も消えきれいに仕上がります。



便器・便座の洗浄

付着した尿石は除去できませんが、バクテリアやアンモニアの発生を抑える効果があります。高濃度で使用する」と消臭効果も期待できます。



ゴミ集積所の管理

集積場にミストとして一定間隔で空中噴霧。強い臭気を消すことができます。



厨房床の洗浄

モップやジョーロなどで床に塗布し、ブラシなどで擦って下さい。その後、浮いた汚れを水で洗い流します。汚水に汚染物質は一切含まれておりませんので、気にせず排水して大丈夫です。洗剤成分の残留によって起こるベタつき再汚染もありません。



グリストラップ・排水溝の洗浄

電解水を各水槽に投入し、暫く放置してから排水します。タンパク質等が分解され、回数を重ねるごとに浄化されます。投入後、かき混ぜてあげるとより効果的です。



カラオケルーム等の総合清掃

スーパーアルカリウォーターを浸透させたクロス等で拭き上げを行います。機材の除菌や清掃後に消臭効果もあり、室内を衛生に保つことが出来ます。床やイスなどに付着したシミも除去できます。



株式会社 セイハン

本社	〒 003-0832	札幌市白石区北郷2条2丁目2-14 TEL 011-873-2000 FAX 011-873-2100
旭川営業所	〒 078-8243	旭川市豊岡13条6丁目3-6 TEL 0166-35-7878 FAX 0166-34-7588
帯広営業所	〒 080-2470	帯広市西20条南4丁目20-6 TEL 0155-58-2500 FAX 0155-58-3300
仙台営業所	〒 984-0051	仙台市若林区新寺3丁目10-36 共立輸送ビル TEL 022-792-5211 FAX 022-792-5220
山形営業所	〒 990-0831	山形市西田5丁目25-7 TEL 023-616-5800 FAX 023-616-5855
東京事業部	〒 124-0023	東京都葛飾区東新小岩1丁目15-19 大一産業ビル TEL 03-6657-7201 FAX 03-3691-0887



現場の相談や使い方の相談など、ぜひお電話お待ちしております。

「第21回標津町民祭り 水・キラリ」



＜祭りのフィナーレを飾る花火大会の様。左に見える塔はサーモン科学館の展望塔＞

＜ご当地イベント紹介＞

毎年、8月第一土曜日・日曜日に、標津町の象徴である澄んだ水・豊かな水に感謝し、水を守ることをテーマに開催される「標津町民祭り 水・キラリ」は、「ウラップ伝説」「産業と食・遊び文化の伝承祭」「曳山巡行」の三部構成のプログラムで実施されます。

第一部の「ウラップ伝説」は標津町の水源「ウラップ川」を舞台とし、「奉納・授水」の儀式が執り行われ、続いて伝承劇の披露や標津グルメが楽しめる屋台村で、前夜祭が始まります。

第二部の「産業と食・遊び文化の伝承祭」は、「標津国際水中バレーボール大会」などの水にちなんだ催しと、「キラリ1000人ビンゴ大会」や牛肉の大試食会が行われます。

第三部の「曳山巡行」は、5基の山車が、お囃子と踊り手と共に賑やかに町内を練り歩き、祭りの最大の見所です。

更に、スターマインワイド等様々な花火で、標津町の夏の夜空を彩る「花火大会」で、まつりのフィナーレを飾ります。

世代を問わず、老若男女すべてが楽しめる標津町民祭り水・キラリに是非お越しください。

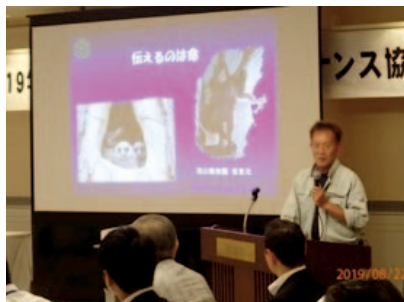


＜標津町観光大使兼カラオケ審査委員長の岡千秋さん
はじめ、道議、町長らによる鏡割りの模様＞



＜町道を巡航する曳山巡航の様＞

東北・北海道BM協議会 Pohtoスナップ（旭川）



会員の皆様へ

ビルメンひろば 作品募集!!

[デジカメ写真] の部

北海道各地の名所旧跡、各地の風景、ペット、植物園芸等、趣味ダンス、スポーツ等作品を募集しています。

採用された作品は、北翔の「表紙」や「ビルメンひろば」に掲載いたします。

(デジカメ写真サイズは 1枚5メガ以内、作品には簡単なコメントを添えて)

・エッセイ

随筆／随想／業務の体験談等(題材自由) 1200文字以内

[文 芸 作 品] の部

・短歌／俳句／川柳 1回に各5点まで

◎ 作品はメールにて連絡先を明記しお送り下さい。

(連絡先・会員企業名・氏名・連絡先電話番号)

応募受付メールアドレス → bmhiroba@kita-bm.com

◎ 募集は随時 掲載の締切は <<夏季号(7月上旬) 新年号(11月末)>>

※ 採用された作品には 記念品を進呈いたします。

※ 採否並びに添削は編集部(事務局)に一任下さい。

※ 応募いただいた作品は、採用・不採用を問わず返却いたしません。

問い合わせ先 TEL 011-615-1100(北翔 事務局)

“北翔” おすすめ「製品や技術情報」を 随 時 募集しています。

製品の特長や商品写真、お問い合わせ先などA4サイズ1、2枚程度(カラー)で原稿を作成し、北翔事務局にお送りください。

※ 採否並びに添削は編集部(事務局)に一任下さい。

(掲載の締切 夏季号(7月上旬) 新年号(11月末))

メールアドレス → bmhiroba@kita-bm.com

編集後記

◎ あけましておめでとうございます。

皆様には清々しい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

◎ 巻頭、北海道知事 鈴木直道氏、札幌市長 秋元克広氏、から新年のご挨拶を頂き、厚くお礼申し上げます。

◎ 東北・北海道BM協議会、第57回優良従業員表彰、労働安全衛生大会、平成31年度 労働災害防止論文・標語の入選作品様を掲載いたしました。

◎ 各地区協議会活動の中から数点トピックスとして掲載しました。

◎ “ビルメンひろば” に各地区協議会広報担当に協力いただき投稿作品を掲載しました。

編集責任者 広報委員長 山 本 有 希

WetVac | F-30Li



Clean Innovation Company

ペンギンワックス株式会社

本社・工場 大阪市東成区東中本3-10-14(〒537-0021)

CORDLESS

コードレスウェットバキューム(固定スクイジー)

ホームページリニューアルしました! ▶ ペンギンワックス

検索

圧倒的な作業効率!



別売でツールキット
もございます。

連続稼動
*① 70分

充電時間
*② 60分

*①、②はバッテリーLV925、充電器
CLV9251を使用した場合です。

●バッテリー交換も簡単



●汚水排出方法は2パターン



・バッテリーを搭載したままでも
2階、3階へラクラク持ち運び!

・電源コードの制約から解放され
洗浄作業が早く、効率的に!

・連続長時間作動、急速充電
バッテリー交換も簡単!

・電源を探したり、ブレーカーを
落とす心配も無用!

Allway Liコードレスマシンシリーズ
バッテリー、充電器が共有できて便利!



●コードレスブロワー
BL-24Li

●WetVac
H-12Li

●BP-130Li/150Li

究極の1層仕上げ

透明感の高い皮膜で、光沢が高く、
長期間の美観維持が可能。

超高濃度樹脂ワックス

ポリーズ ユシロンコート

グロススペック27

ご用命・お問い合わせは...

ユシロ化学工業株式会社

〒003-0026

札幌市白石区本通19丁目南2番7号 食糧ビル3階

電話 011-887-0397



CORELEX 業務用トイレに最適!

3倍巻ロールの〈コアレス〉だから、こんなに便利でお得



- ①取り替え手間が3分の1
- ②収納スペースも2分の1
- ③トイレがつまる原因となるボール芯が無く、ゴミも減量。

更にカギ付きだから
盗難の心配は
ありません。

トイレットペーパー・ティッシュペーパー・タオルペーパーのことなら

コアレックス道栄株式会社 札幌営業所

〒060-0004 札幌市中央区北4条西15丁目1番14号 コアレックスビル 4階

TEL (011) 633-2323 FAX (011) 633-4555

コミュニケーションを基本に、これからの企業ユニホームを考えます。



UNIFORM IDENTITY

**IMAGE
WORK**

私たちは IMAGEWORK です。



イメージワーク株式会社

〒003-0002 札幌市白石区東札幌2条1丁目5番17号

カンコー学生服ビル

TEL : 011-374-4811 FAX : 011-374-4855

詳しくはこちらをチェック!

イメージワーク

検索

“魅せる清掃”を通じてビルメンテナンスの本質を
社会に伝え、業界発展に貢献します。



環境美化用品総合メーカー

TERAMOTO

大阪・東京・名古屋・札幌・仙台・埼玉・横浜・広島・福岡
http://www.teramoto.co.jp/

ISO9001 八尾工場 認証取得 成田工場
ISO14001 八尾サイト(八尾工場) 認証取得 成田サイト(成田工場・成田物流センター)



PURETE

ウルトラファイン
バブル^(※1)自体が洗淨
効果を発揮します。

人にやさしく
自然にやさしい

コスト削減

労力削減

業務安全化

設備への
負荷軽減

洗淨力
アップ

洗淨剤
不使用

環境への
負荷軽減

◆洗淨剤を使う場合でも、
その効果を上げる特性も
有しています。

(※1) ウルトラファインバブルとは、
直径 100 マイクロメートル未満
の気泡であるファインバブルの
うち、直径が 1 マイクロメー
トル未満の気泡のことをいいます
(ISO20480-1)。

Brilliant Together
KINBOSHI
株式会社 金星
www.kinboshi-inc.co.jp

●札幌 〒060-0001 北海道札幌市中央区北一条西 3-2-14 井門札幌ビル 6F
●東京 〒102-0081 東京都千代田区四番町 4-8 野村ビル 3F
●大阪 〒537-0025 大阪府大阪市東成区中道 1-10-26 サクラ森ノ宮ビル 1F
●岡山 〒711-0907 岡山県倉敷市児島上の町 2-1-68
●福岡 〒812-0022 福岡県福岡市博多区神屋町 2-26 1F

TEL (011) 232-2333: FAX (011) 232-2332
TEL (03) 3511-8441: FAX (03) 3511-8440
TEL (06) 6975-2600: FAX (06) 6975-2001
TEL (086) 470-0511: FAX (086) 470-0364
TEL (092) 260-3508: FAX (092) 260-3518

室内環境測定セット

環境測定機器・科学機器の製造販売
SIBATA

Indoor Pollution Evaluating System

- 画期的なサイズ感

180(W)×130(D)×150(H)

- 小型軽量化 (2.3Kg 三脚を含む)

により一人で持ち運び可能

- タブレットPC+

本体のみで測定可能

- 測定操作はタブレットから

専用ソフトを使用し操作が簡単

- 6項目同時測定、測定時間1分～

(オプションにより最大9項目)

- 測定結果表示・報告書作成も

全てタブレットPC1台のみで可能

IES-5000型

※質問、デモンストレーション等の御依頼は下記連絡先までどうぞ！！

東美商事株式会社

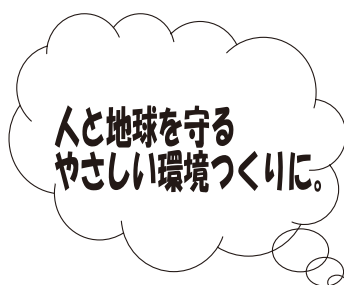
札幌営業所／北海道札幌市中央区北3条西4丁目1-4 札幌第一生命ビル4階
〒060-0003 PHONE 011-252-1280 FAX 011-252-1281



「清掃用品」はお任せ下さい。

SEIHAN 株式会社 セイルン

本 社	〒003-0832	札幌市白石区北郷2条2丁目2-14 TEL011-873-2000 FAX011-873-2100
旭川営業所	〒078-8243	旭川市豊岡13条6丁目3-6 TEL0166-35-7878 FAX0166-34-7588
帯広営業所	〒080-2470	帯広市西20条南4丁目20-6 TEL0155-58-2500 FAX0155-58-3300
仙台営業所	〒984-0051	仙台市若林区新寺3丁目10-36 共立輸送ビル TEL022-792-5211 FAX022-792-5220
東京事業部	〒124-0023	東京都葛飾区東新小岩1丁目15-19 大一産業ビル TEL03-6657-7201 FAX03-3691-0887



SEIHAN



ホームページもございます。よろしければ是非、検索してみてください。

www.seihan.biz

検索

か
ち
か
ち



ウェットバキューム
TASKI バキュマツ 220T JBMA

平成25年度より採用

- ▶ビルクリーニング技能検定実技作業試験
(公益社団法人全国ビルメンテナンス協会実施)
- ▶ビルクリーニング科単一等級技能士コース訓練
(一般財団法人建築物管理訓練センター実施)

まったく新しい
フロアシール剤
が誕生しました。



SUSTAINA
ソリッドシール
業務用フロアシール剤

NEW

耐アルコール性と、各種の除菌薬剤の耐性

ソリッドシール

一般的な樹脂ワックス

ソリッドシール ▶今すぐクリック

もうニオイで悩むことはありません。

トイレで気になるアンモニア臭を化学消臭
飛び散り尿から発生するアンモニア臭をブロックして防臭



アンモニアクリア 除菌消臭

業務用トイレ用消臭剤



○ニオイを元から消臭

大切な場所には、きっと。



シーバイエス株式会社 www.facebook.com/Cx5Japan

●札幌営業所/〒003-0807 札幌市白石区菊水7条2丁目7-1(札幌流通倉庫ビル) TEL.011-817-6765 FAX.011-817-6768

刷子及び清掃用品の製造並びに販売

生活と環境に「キレイ」を届ける  **タケヤ刷子工業株式会社**

各種刷子/業務用ワックス・洗剤/清掃用資機材/厨房衛生用品他 <http://www.takeyaburashi.co.jp>

本社	〒060-0031	札幌市中央区北1条東2丁目4番地	TEL(011)221-3116	FAX(011)241-0036
函館営業所	〒040-0072	函館市亀田町20番10号	TEL(0138)41-3480	FAX(0138)41-9004
旭川営業所	〒078-8218	旭川市8条通18丁目右7号	TEL(0166)34-6100	FAX(0166)34-6700
帯広営業所	〒080-0801	帯広市東1条南20丁目1番1	TEL(0155)27-1681	FAX(0155)22-0191
東京営業所	〒343-0844	埼玉県越谷市大間野町4丁目155	TEL(048)986-1351	FAX(048)989-0878
北海道工場	〒072-0006	美唄市東5条北9丁目3番18号	TEL(0126)63-3961	FAX(0126)63-3962

世界初！洗浄プログラム制御

鍵管理システム搭載で均一清掃を実現



業務用自走式床洗浄機
BR 45/40 W Bp プレミアム



違いを生む ケルヒャーの床洗浄機

■鍵管理システムで均一な清掃が可能

世界初の鍵管理システム(KIK)を採用。2種類の鍵で権限を分け管理者が清掃内容を設定し、作業者は設定の範囲内で清掃を行います。作業者を選ばずどなたでも均一な清掃結果が得られます。



■簡単操作で効率よく清掃

自走式のため、作業の際や移動時の負担を軽減します。また、作業者が操作するスイッチ類は色分けされており、操作ミスを防止します。

■経済性にすぐれた洗剤節約システム

洗剤を必要な量だけ直接ボトルから投入できるので、無駄がなく経済的です。また、タンクが汚れないので、後処理の手間がありません。

ケルヒャー ジャパン株式会社

札幌支店 TEL:011-879-2181

〒003-0871 北海道札幌市白石区米里1条2丁目10番6号

ホームページ <http://www.karcher.co.jp>



makes a difference

リンレイ

さらに進化したRook17シリーズ

Rook17快をさらに進化させた『Rook17快Q(アルファ)』とベーシック&ハイスペック コンパクト機『Rook17 ZERO(ゼロ)』の2機種で皆様の声にお応えします。

インテリジェント サイレンス システム搭載。

Rook17快Q(アルファ)



ALPHA SOUND

ALPHA POSITION



ZERO POSITION

充実した基本性能と使いやすさを追求。

Rook17 ZERO



株式会社 リンレイ

業務製品事業本部

本社 〒104-0061 東京都中央区銀座 4-10-13 TEL.03(3541)4851(代)・東京 03(3543)2281・大阪 06(6394)4571・名古屋 052(581)8241
札幌 011(521)5271・仙台 022(223)6868・広島 082(232)2333・高松 087(834)2738・福岡 092(883)7000

<http://www.rinrei.co.jp/>

美しく、爽な環境をつくる

清掃用品ならなんでも揃う

CLEAN & BEAUTY

HOKUSEI

北清産業株式会社

〒001-0903 札幌市北区新琴似3条2丁目

TEL (011) 761-8151(代)

FAX (011) 764-4693

豊富な品揃えで、現場をサポート！



ロータリーモア



家族のまさお



クボタ 乗用刈払機

レンタル品目

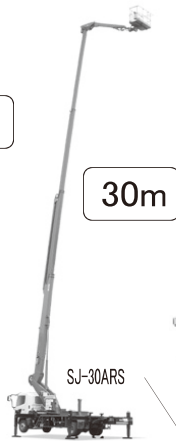
高所作業車・橋梁点検車・トラック各種・
仮設機材・仮設ハウス・測量機器・照明器
土木機械・発電機・溶接機・コンプレッサー・
高圧洗浄機・フォークリフト・荷役機械・
無線機・除雪機・暖房機・電設機材etc...



塵芥車 最大積載量 2t



40m



30m



12m



高所作業車 12m~40m
現場にあった機種をご用意致します！



美装用品~プロ用フロアメンテナンス機器~

SK
LEASE

エスケーリース株式会社
Lease&Rentai
TEL:011-775-4141 FAX:011-775-4588

本社 札幌市北区百合が原6丁目1-20
西センター 札幌市西区発寒17条3丁目
白石センター 札幌市白石区米里3条2丁目7-2
大谷地センター 札幌市白石区流通センター4丁目4-32
HP: <http://www.sk-lease.co.jp> Email: head@sk-lease.co.jp



ほく しょう

北 翔 (新年号)通巻115号 令和2年1月30日

発行所 一般社団法人 北海道ビルメンテナンス協会
〒060-0003 札幌市中央区北3条西17丁目2番3号
ビルメンテナンス会館
電話 (011)615-1100・FAX (011)615-7055

発 行 代表者 岡 田 知 己

編集者 広報委員会